

# 図書館だより

## 目次

チューリンゲン国立中央公文書館——西山 力也	1
学部学生向け図書館アンケート実施報告	
——鈴木 学	2
私を夢中にさせた大学図書館——佐藤 由佳	8
書架めぐりのすすめ——大野 裕代	8
こんにちは！日本女子大学図書館です	
——中澤 恵子	9
利用者アンケートを実施して	12
卒業生の図書館利用について	
旧教職員の図書館利用について	



泉プロムナードより図書館をのぞむ

## チューリンゲン国立中央公文書館

西山 力也

ヴァイマル通いを始めて10年以上になる。無論アンナ・アマーリア公妃図書館、ゲーテ＝シラー文書館、ゲーテ協会など古典研究の環境が整っているからだが、他方、この小都市の不思議な魅力も否定できない。26歳、短期訪問のつもりが残り56年余の生涯を過ごしてしまうゲーテの感慨、「この地を見て思うのは、長旅から祖国に戻った旅人の心を満たすあの感情である。」シラーも「ここで生涯を終えたくない、どこだって、ここよりはまし」と他所を探すが、結局は当地に骨を埋める。1989年壁の崩壊。旧DDRからBRDへ市民が先を争って出国した際、誰の思いつきか、国立劇場前に佇むゲーテ＝シラー像の手にはプラカードがあった。「俺たちはどこへも行かないぞ！」

さて、ヴァイマルの文学・歴史研究の一翼を担うのが、チューリンゲン国立中央公文書館(Thüringisches Hauptstaatsarchiv)、本館(ベートーヴェン広場)と別館(城の北側・旧厩舎)から成り、前者は1920年までの、後者はそれ以降の公文書を保管、閲覧に供している。本館についてジークリット・ダムは『クリスティアーネとゲーテ』に示す。「一階の観音開きの扉から中を覗くと、巨大な空間が何層にも仕切られていて、床は鋼鉄製の格子状になっている。書類を空気に触れさせるため、暖かい日光が埃のフィルターを通して果てしなく続く褐色や灰色の書架の上に落ちていた。いわば書類で出来た芸術作品の観があった。」1885年建築家シュトライヒハーンによって建てられたフィレンツェ風パラッツォ様式の建物は、のちの公文書館建築の手本になった。

ダムはゲーテの妻クリスティアーネの父ヴルピウスの情報を得ようと同館を訪れ、枢密官房文書、特にヴルピウスが10年間にわたって代々の君主に宛てた仕官嘆願書を調査する。私は氏の作品の翻訳を進めていて、自分の目でも確かめたくなり、同館を訪れた。「開けてみると、硬いが、目の粗い紙質ではなく、250年の歳月をほとんど感じさせない。そこに、クリスティアーネの父親の筆跡が、インクの色も褪せずに残っていた。"イト慈悲深キ君主デアラレル公爵殿下..."」ダムのこの驚きは後追いの私にもまったく同じであった。親兄弟を、妻子を養わんと必死に嘆願を繰り返すヴルピウスの悲壮な思いが、字体にまで意匠を凝らした文面に、今なお生々しく漂っていた。

同館設立の歴史は古く、エルネスト系のフリードリヒ公治下の<sup>レジデンス</sup>首都となる1547年にまで遡る。公文書保管という性格上、その歴史はヴァイマル、チューリンゲンの歴史の変遷と相即不離、複雑すぎてここでは述べられないが、現組織への改編は1990年、ドイツ再統一によるチューリンゲン州(連邦州の一つにして共和国 "Freistaat" を名乗る)の成立後である。(図書館長・史学科教授)

## 学部学生向け図書館アンケート実施報告

図書館では、平成18年秋に図書館利用者に向けてアンケート調査を行った。その中から学部学生向けアンケートの集計結果の一部を報告する。目白・西生田両キャンパスで668枚の回答を得ることができた（表1）。以下のようにA～Lの12項目についてアンケートをとった。

	1年生	2年生	3年生	4年生	計
家政学部	34	33	46	52	165
文学部	42	58	62	63	225
理学部	11	31	18	28	88
人間社会学部	57	33	40	60	190
計	144	155	166	203	668

表1 アンケート回収数の内訳

## アンケートの設問

- A. 図書館の利用カードを持っていますか？  
1. はい 2. いいえ
- B. あなたが主に利用するのは  
1. 目白図書館 2. 西生田図書館 3. どちらも同じぐらい
- C. 大学図書館をどのぐらいの頻度で利用していますか  
1. 毎日 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月2～3回 5. 試験期間のみ  
6. 月1回以下・使わない（質問Dにお答えください）
- D. 質問Cで6と答えた方にお尋ねします。その主な理由は何ですか  
1. 必要な資料は購入している 2. 公共図書館などを利用している  
3. インターネットで情報を入手している 4. 利用しなくても支障がない  
5. 利用したい資料がない 6. 利用の方法がわからない 7. その他
- E. よく利用される時間帯に○をつけてください。（複数回答可）  
1. 開館～11:00 2. 11:00～14:00 3. 14:00～17:00 4. 17:00～閉館まで
- F. 次の図書館サービスを利用したことがありますか  
ア) 図書・雑誌の館内閲覧 イ) 図書の貸出 ウ) 図書の予約  
エ) 図書・雑誌の複写 オ) 目白または西生田からの資料取り寄せ  
カ) オンラインデータベースの検索 キ) 他大学・機関からの現物・複写取り寄せ  
ク) 他大学への紹介状の発行 ケ) ガイダンス・講習会への参加  
コ) 購入希望図書申し込み サ) ビデオ他AVブースの利用  
シ) 共同研究室（グループ研究室）の利用  
ス) 持込PC（コンピュタセンター、個人所有）の利用 セ) 「ご意見箱」への投書  
（選択肢）  
1. ある 2. ない 3. 知らなかった
- G. 図書館以外の場所から日本女子大学図書館のHPを利用したことがありますか  
1. 自宅から使っている 2. 学内から使っている 3. それ以外から使っている  
4. 使ったことはない（質問Iへお進みください）
- H. 質問Gで1～3と答えた方にお尋ねします。お使いになるサービスに○をつけてください  
1. What's Newを見る 2. 利用案内を見る 3. 開館日程を見る  
4. 蔵書を検索する 5. オンラインジャーナル・学外サーバを利用する  
6. その他
- I. 図書館の資料に満足していますか。満足でない場合は、具体的なご希望をお書きください。  
・和図書（日本語・中国語・ハングルで書かれた図書）  
・洋図書（英語・仏語・独語等で書かれた図書）  
・和雑誌 ・洋雑誌  
（上記それぞれについての選択肢）  
1. 自分が所属するキャンパスで満足 2. 目白・西生田を含めれば満足  
3. まあまあ満足 4. あまり満足ではない 5. 全く満足ではない

6. 使わない（具体的な希望があればお書きください）
- J. 今後どのような資料を充実すべきだと思いますか。
1. 専門図書 2. 辞書・事典 3. 教養図書 4. 専門雑誌 5. 新聞
  6. AV資料 7. オンラインデータベース
  8. その他（具体的な希望があればお書きください）
- K. 今後、図書館に期待する主なサービスを選び、番号に○をつけて内容についてお書きください。
1. ホームページ機能の充実（どんな機能を？）
  2. 相談・調査サービスの拡充（具体的にご希望があれば）
  3. 開館時刻の変更（ の期間 時から開館）
  4. 閉館時刻の変更（ の期間 時まで開館）
  5. 設備・環境の改善（どんなところを） 6. その他（具体的に）
- L. ご自由にご意見等お書きください。（自由記入）

○「F. 次の図書館サービスを利用したことがありますか？」について

図書館の利用サービスがどれくらい利用されているか、あるいは知られているかを「1. ある 2. ない 3. 知らなかった」の三択により調査、集計は学部ごとに行った（図1～4）。

設 問： F. 次の図書館サービスを利用したことがありますか？  
 回答選択肢： 1. ある 2. ない 3. 知らなかった

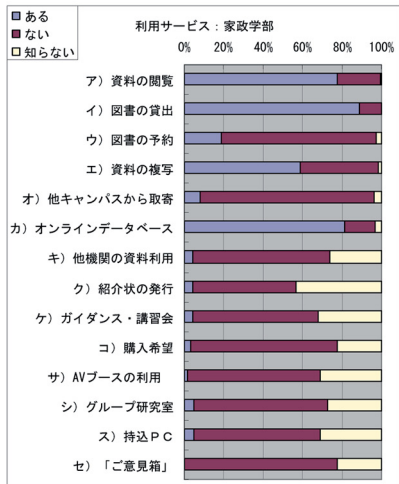


図1 家政学部

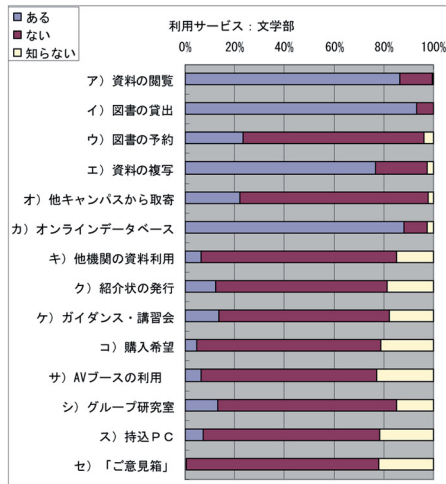


図2 文学部

分析すると、目白キャンパスの3学部（家政学部・文学部・理学部）では、全体として以下のような傾向が見られる。（図1～3）

- ・レファレンスサービスである「キ）他大学・機関からの現物・複写取り寄せ」, 「ク）他大学への紹介状の発行」, 「ケ）ガイダンス・講習会への参加」, 「コ）購入希望図書申し込み」などでは「3. 知らなかった」という回答が多い。
- ・サービスの利用経験に関して, 「ウ）図書の予約」, 「オ）目白または西生田からの資料取り寄せ」が数としては多くない。
- ・「カ）オンラインデータベース検索」の利用の経験は、家政学部81%, 文学部88%, 理学部65%と差が生じている。

一方、西生田キャンパスの1学部（人間社会学部）では、以下のような傾向がみられる。（図4）

- ・「イ）図書の貸出」, 「ウ）図書の予約」, 「オ）目白または西生田からの資料取り寄せ」など、閲覧カウンターで提供するサービスは、利用したことがある・ないにかかわらずよく知られていると言える。対して、「キ）他大学・機関からの現物・複写取り寄せ」, 「ク）他大学への紹介状の発行」, 「コ）購入希望図書申し込み」など、レファレンスサービスについては「3. 知らなかった」という回答が多い。
- ・オンラインデータベース検索は、80%の利用者が「1. ある」と回答しており、認知度が高い。

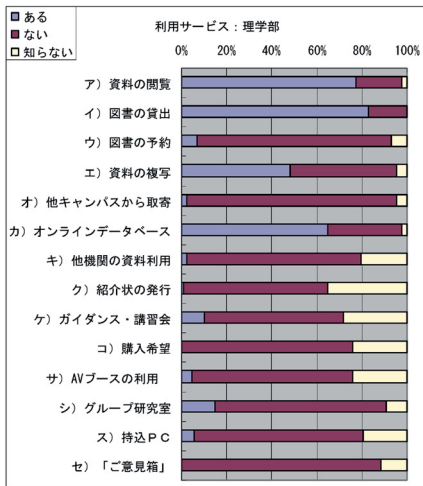


図3 理学部

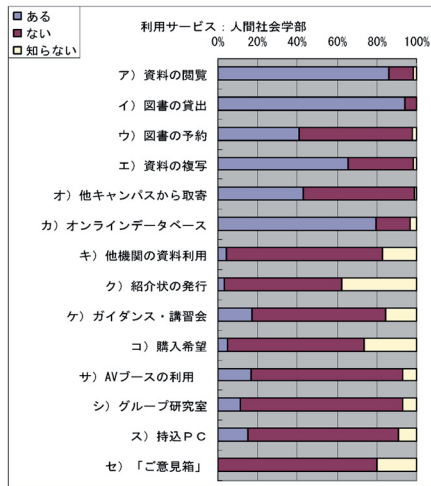


図4 人間社会学部

○「I. 資料に対する満足度」について

図書館の蔵書に対する満足度を下記の設問で調査した。また、各資料ごとに具体的な要望があるかどうかあわせて調査した。

設 問： I 図書館の資料に満足していますか？ 満足でない場合は、具体的なご希望をお書きください。

- ・和図書（日本語・中国語・ハングルで書かれた図書）
- ・洋図書（英語・仏語・独語等で書かれた図書）
- ・和雑誌
- ・洋雑誌

回答 1. 自分が所属するキャンパスで満足 2. 目白・西生田を含めれば満足

選択肢： 3. まあまあ満足 4. あまり満足ではない

5. 全く満足ではない

6. 使わない（具体的な希望があればお書きください）

目白キャンパスの3学部とも和図書以外は「6. 使わない」という回答が多い。特に洋雑誌に関して「6. 使わない」という回答が3学部とも70%を超えており、洋図書に関しても「6. 使わない」が家政学部約75%、文学部約62%、理学部約69%となっている。記述欄では「数が少ない」「資料が古い」が目立つ。

西生田キャンパスでは、洋図書・洋雑誌を「6. 使わない」とする回答が多く、いずれも70%を超えている。また、「1. 自分が所属するキャンパスで満足」という回答が少なく、和雑誌を除いて10%以下である。（図5）

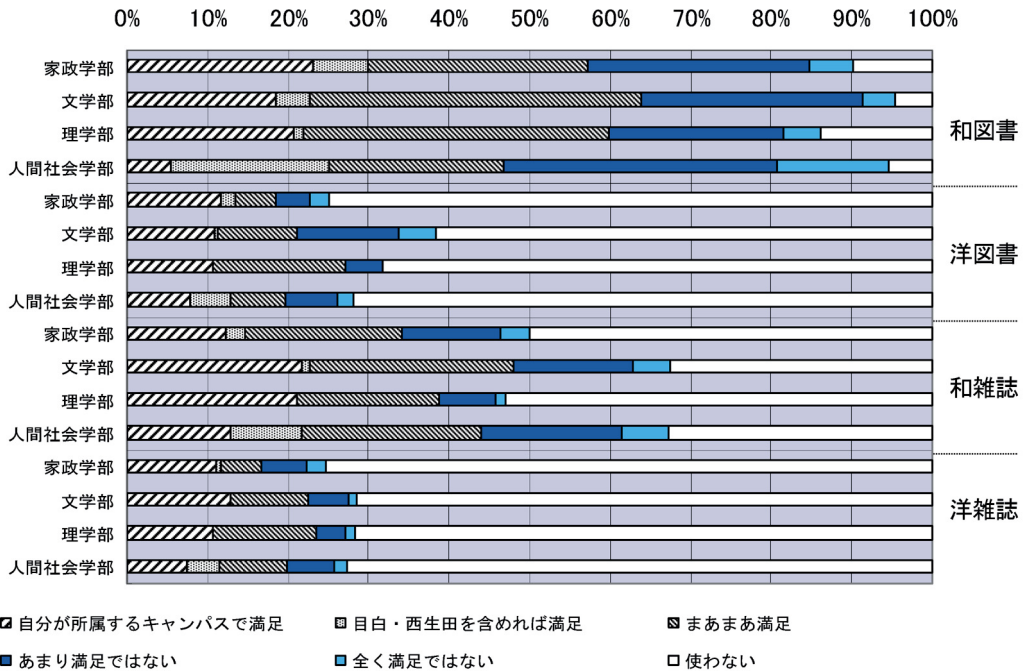


図5 I. 資料に対する満足度

自由記述欄では、和図書に対する希望が圧倒的に多く、資料が少ない、古い、小説や文庫・新書を置いてほしいという要望や、目白と比較して蔵書が少ない、取り寄せが面倒だとの意見が目立った。

○「K. 今後、図書館に期待する主なサービスを選び、番号に○をつけて内容についてお書きください。」について

図書館で提供しているサービスについて、利用者がもっとよくしてほしいサービスが何であるかを調査した。加えて自由記入による調査を行い、具体的な提案を求めた。

設 問： K. 今後、図書館に期待する主なサービスを選び、番号に○をつけて内容についてお書きください。

回答 1. ホームページ機能の充実（どんな機能を？）

選択肢： 2. 相談・調査サービスの拡充（具体的にご希望があれば）

3. 開館時刻の変更（ の期間、 時から開館）

4. 閉館時刻の変更（ の期間、 時まで開館）

5. 設備・環境の改善（どんなところを） 6. その他

目白キャンパスの3学部の集計では（図6）選択肢「5. 設備・環境の改善」への回答が際だっている。具体的には、トイレについて、図書館内の環境（空調や雰囲気）、ロッカーの使用についての改善を求める回答が多い。それ以外には開館時間帯の拡大を求める声が多かった。それぞれの項目で多かった回答を以下にあげる。

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. ホームページ機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの予約、貸出の延長</li> <li>・検索機能について</li> </ul> <p>2. 相談・調査サービスの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフへの苦情</li> <li>・時間の延長</li> </ul> | <p>3. 開館時刻の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、8：00から</li> <li>・休暇期間中の開館時間の拡張</li> </ul> <p>4. 閉館時刻の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、21：00まで</li> </ul> |
|--|--|

5. 設備・環境の改善

- ・トイレについて
- ・空調について
- ・ロッカーについて

・図書館内の環境について

6. その他

- ・はやりの本・最新の本

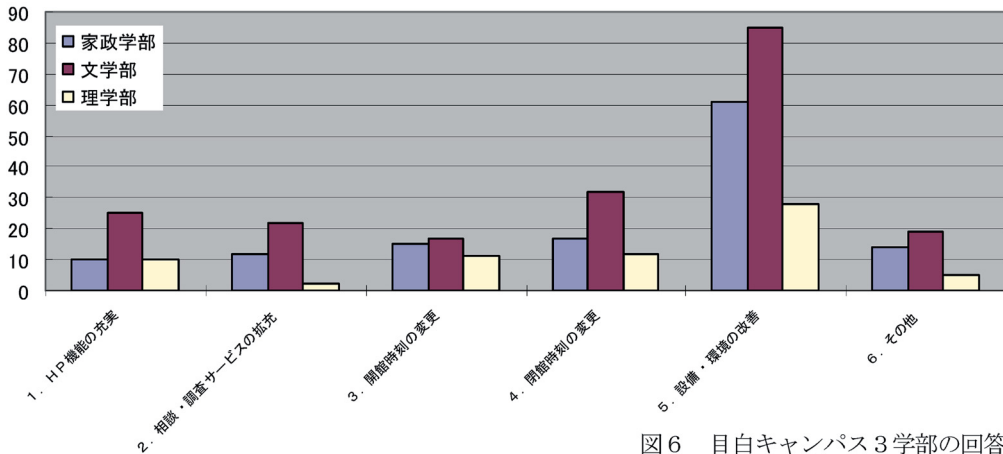


図6 目白キャンパス 3学部の回答

西生田キャンパスの集計では（図7）まんべんなく回答が寄せられているが、目白キャンパスでの集計と同じように開館時間帯の拡大の声は多い。こちらもそれぞれ多かった回答をあげる。

1. ホームページ機能の充実

- ・オンラインでの予約，貸出の延長

2. 相談・調査サービスの拡充

- ・利用案内・サポート

3. 開館時刻の変更

- ・通常，8：00から

4. 閉館時刻の変更

- ・通常，20：00まで

5. 設備・環境の改善

- ・空調について
- ・トイレについて

6. その他

- ・小説

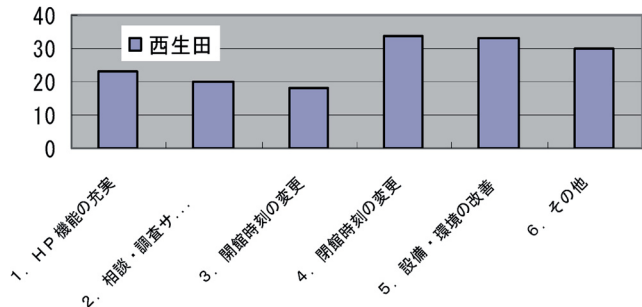


図7 西生田キャンパス 1学部の回答

○「L. ご自由にご意見等お書きください」について

A～Kで具体的な項目について質問を設けたが、それ以外に意見や要望を記入できる項目を設けたものである。

設 問：L. ご自由にご意見等お書きください  
 回答選択肢：自由記入

目白キャンパスの3学部の集計を図8に、大まかに分類して回答数の順に並べてみた。他の設問と重なる意見も多く見られる。具体的には、蔵書について、建物について、ロッカーについて、サー

ビス全般、スタッフについて、開館時間についてが多く寄せられた意見であった。また、公共図書館でもよく取り入れられている、インターネットを経由した資料の予約システムについての要求も多く寄せられた。

西生田キャンパスでの集計では、蔵書構成や資料の充実に関する意見が21件、図書館員の対応に関する意見が19件、その他が9件、開館期間や時間に関する意見が6件となっている。ここでもこれまでの質問に対する回答や、コメントと重なる意見も多く寄せられている。西生田では入館時のロッカーの使用が無いため、意見としては寄せられていない。

寄せられた意見で特徴的なものはおおよそ次の通りである。

【両キャンパスで共通する意見】

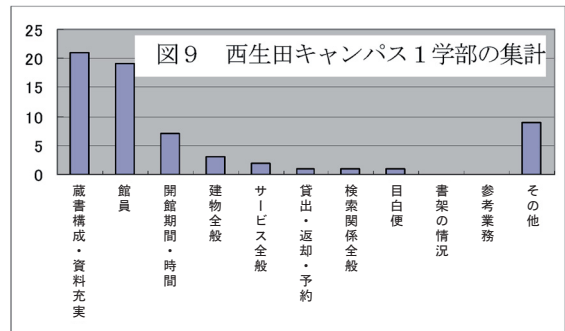
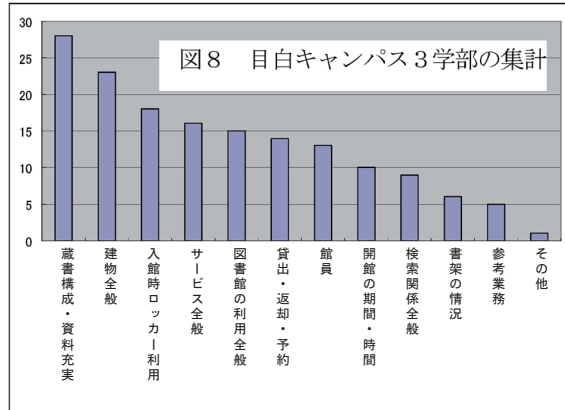
- ・新しい本・小説が少ない
- ・館員への苦情
- ・開館時間の拡張や休暇期間の開館について
- ・館内の環境について
- ・ネットでの予約や継続手続

【目白の回答で寄せられた意見】

- ・建物に関してはトイレについてが多く、「古い・汚い」「館内環境に関すること」「休憩スペースが欲しい」など
- ・入館時のロッカー利用は面倒くさく、気軽に図書館に行きにくい
- ・サービス面では、館内の資料の配置が分からない、本の探し方がわからない、どんなサービスあるのかがよく分からないなど
- ・1階の荷物チェックへの不満や証紙の券売機をもとめる意見
- ・貸出冊数を増やしてほしい
- ・貸出期間が長すぎる・短いという意見
- ・スタッフへの苦情

【西生田の回答で寄せられた意見】

- ・新聞の種類が少ない
- ・必要な本が目白にしかない（民俗学、社会福祉関係）
- ・入り口を自動ドアに
- ・目白便を毎日にしてほしい
- ・検索が使いやすいとはいえない
- ・静かな場所で気に入っている
- ・夏休みの利用者が少ない時期、PCがすべて起動しているのは電気の無駄
- ・DB講習会への参加よびかけなど、身近に感じられる機会が以前より増えたと思う



「学部学生向け図書館利用者アンケート」集計報告の全容は、図書館ホームページ上に掲載しているので、ぜひごらんいただきたい。今回の報告はホームページに掲載されている全体報告をもとに一部を抜粋しまとめたものである。

(館員・閲覧係 鈴木学)

## 私を夢中にさせた大学図書館

佐藤 由佳

正直言うと、私は今まで本を読むことが少なく、図書館と言う場所にはあまり行くこともありませんでした。図書館と言うと何だか堅苦しいイメージもありました。そんな私が、今、大学図書館に夢中になっています。大学に入学した当初は、図書館の存在は知っていましたがすぐに利用することはありませんでした。しかし、友人からの薦めで試しに行ってみることにしました。書架がたくさんある場所へ行き、おもわずその本の多さに圧倒されました。一体、どのくらいの本があるのだろうと疑問に思わずにはいられませんでした。その日以降、私は徐々に図書館に足を運ぶようになりました。私は理学部の生徒なので、実験レポートの参考資料を探すためによく利用しました。大学図書館で資料を探すと、本当に見つからない資料はないと言っても良いほど、よく見つかります。それもやはり、この大学図書館の本の多さのおかげではないかと感じています。そのため、いつも最高のレポートを仕上げることができました。

私は1年の後期から、図書館のアルバイトをさせて頂いています。書架整備や配架をしていると、今まで、自分がレポート作成を中心にこの大学図書館を利用して、他の本などに見向きもしていなかったことに気づかされました。そして、こんな使い方ではもったいない、もっと活用したいと思うようになりました。それから、私は空き時間があると図書館に行き、自分の専門分野以外の書架の場所へ行き、興味があった本を手に取り読んでいます。

このように私は図書館を利用していますが、この他にもいろいろな使い方があると思います。新入生のみなさんも、是非大学図書館を訪れ、夢中になってください。そして、自分にあった利用法を見つけ、これからの大学生活に役立てていってください。

(物質生物科学科・2年次学生)

## 書架めぐりのすすめ

大野 裕代

皆さんにとって図書館とはどういう存在でしょうか？私にとっては、図書館はなくてはならない大切な存在です。それは授業やレポートの資料探しのためだけではなくもちろんありません。私にとってここは興味の宝庫なのです。

言うまでもありませんが、図書館には実に豊富な資料が収められています。大学というのは研究機関ですから、難しい専門書や普段読むには疲れてしまいそうな本も確かに多いです。しかし、その中には探せばいくらかでも興味をひく本が見つかります。私は図書館が好きなので、日頃から暇を見つけては書架を巡っていますが、そうして本に触れていたおかげでレポートを書くときに必要となる資料をいろいろな観点から探すことが出来るようになり、また個人的に惹かれる本がたくさんあることに気付くようにもなったことは大きな収穫だと思っています。

図書館は知識という名の宝の山です。一度と言わず、何度でも探検してみたいかがでしょうか。その度にきっと何か得るものがあるはずです。自発的な研究や学習が主流となる大学での"学び"の質は、図書館の使いこなし次第で変わってくるものと、私はこれまでの生活を通して実感しています。図書館はそうして興味の幅を広げていくのにも十分な情報と知識が詰まった場所なのです。どうしても目的の資料が見つからなかったときには、ぜひ司書の方に相談してみてください。きっと良いアドバイスをしてくださると思います。

関わり方は人それぞれですが、読書に耽るのにも、語学を極めるのにも、自習をするのにも図書館は間違いなく良い環境です。図書館は利用方法を知ってさえいれば実はいろいろな使い方ができる便利な場所なのです。授業・サークル活動・アルバイト・旅行…と忙しく過ぎていく大学4年間の歳月は、実際に振り返ってみるとやはり短く感じます。その限られた時間を充実したものにするためにも、ぜひ図書館を活用してみてください。

(文化学科・3年次学生)



**Do you know me?**

**My name is Japan Women's University Library!**

—こんにちは！日本女子大学図書館です。私のことを知ってください—

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、この頁を読んでくださっている皆さん、こんにちは。

日本女子大学図書館ってどのような図書館だと思いますか？もちろん、大学図書館は大学の教育・研究活動を支援するための図書館なので、蔵書の大部分は学術書です。皆さんの研究活動をよりサポートすべく館員も日々努力しております。だからといって「試験の時期に行けばなんとかなるでしょ？」などと油断していると！50%も使いこなせない結果に終わるのですね、これが。

図書館を上手に使いこなすには、普段から慣れ親しんでおくことが大切です。ローマは一日にしてならず。さあ、日本女子大学図書館100%活用法！第一歩をご一緒しましょう。

**知ってる？**

日本女子大学図書館は目白・西生田両キャンパスにあります。

●本学の学生・教職員・卒業生・その他利用資格をお持ちの方は、両館を利用することができます。

まずは、「図書館のご案内」を読んでみましょう。新入生の皆さんは入学時に配布されたものがお手元にあるかと思います。図書館内にも自由にお取りいただけるよう配置されておりますので、積極的にご利用ください。

図書館のご案内	
① 図書館のしおり（目白）	図書館のしおり（西生田）
② 日本女子大学図書館利用案内一目白一貸出と西生田相互利用	日本女子大学西生田図書館利用案内 1 貸出, 施設, 目白の図書館の利用
③ // 図書の探し方	// 2 図書の探し方 // 2-2 図書のさがし方
④ // 逐次刊行物と館内各施設	// 3 逐次刊行物とAVコーナー
⑤ // レファレンス・サービス（参考係）	// 4 参考係（レファレンス・サービス）

それではいよいよ入館…の前に

**自己チェック!**



**教えて！ダメな理由**

**マナー 1：図書館内では、携帯電話を使用しないでください。**

**理 由：**図書館は静かに学習・研究を行う場所です。他の利用者に迷惑をかけないように心がけましょう。騒音はトラブルの原因になります。また、言うまでもないことですが！図書館の電気コンセントで携帯電話etc.の充電をしないでください。

**マナー 2：図書館では飲食厳禁です。**

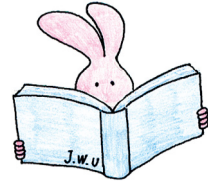
**理 由：**図書館資料は大学の財産であり、利用者共有のものです。図書館資料は水に弱く、すぐにぶよぶよ、乾いてばりばり。また、食べカスは害虫発生の元にもなります。読んで字の如く「害虫」は図書館資料にとって大敵！飲食物は絶対に鞆の中に封入してください。

※目白の図書館では、鞆はロッカーへしまい、文房具などは備え付けのビニール袋に入れて持ち込んでください。

## 知ってる?

入館・貸出には利用カード（両館共通）が必要です。

- 学生証を持参の上、カウンターで利用カードの交付を受けてください。  
(学生以外の方はカウンターに申し出てください)
- 利用カードは登録した本人のみ有効です。



利用カードが必要な手続きをまとめました。詳しくは「図書館のご案内」①②をご覧ください。

**入館** 入館ゲートを通るには各自の利用カードが必要です。

**貸出** 図書と利用カードをカウンターまでお持ちください。貸出冊数・期間は掲示などで確認してください。

**継続** 図書を引き続き利用したい時は、返却期限までに図書と利用カードをカウンターへお持ちください。電話による申し込みは受け付けません。貸出停止中や予約がある場合は継続できません。

**予約** 貸出中の図書は予約ができます。カウンターで予約申込書に記入し、利用カードを提示の上、手続きをしてください。

**指定図書** 講義の補助として先生から指定された資料です。閲覧を希望する場合はカウンターに申し出てください。1人2冊まで貸出可（通常の貸出冊数とは別、貸出期間も異なります）。

**取り寄せ・置き置き** 目白の図書館（目白図書館、上代平和文庫、通信）⇔西生田図書館で資料の取り寄せ、置き置きをすることができます。貸出中の図書は予約することができます。

## ご注意!

◎【最重要】1日でも!1冊でも!返却の遅れている図書があると、新たな貸出ができません。

図書を延滞すると、延滞した日数分だけ貸出停止になります。

- 図書を紛失または汚損した場合はカウンターに申し出てください。原則として弁償です。
- 貸出手続きの済んでいない図書を館外に持ち出そうとするとアラームが鳴ります。
- 貸出は必ず本人がすること!利用カードの貸し借りはトラブルの原因になります。  
図書の延滞罰則や紛失時の弁償などは、すべて!利用カードの持ち主の責任です。

「ええー!図書館ってなんて厳しいところ!」などと、ここでUターンしないように。中に入って各施設を利用してみましょう♪

## 図書館の主な施設・設備

**ブラウジングコーナー** 新聞（当日の朝刊と前日の夕刊）や情報誌（ぴあやオレンジページet c.）が置いてあります。英語・中国語・韓国語の新聞もあります。1人暮らしの方には強い味方です!

**閲覧室** 学習・研究活動はもちろん、ゆっくり読書も楽しめるスペースです。

**新聞室** 過去の新聞（縮刷版、復刻版等含む）を閲覧（調べながら読むこと）できます。

**共同研究室（目白）、グループ研究室（西生田）** 図書館資料を使って、グループで学習・研究する部屋です。カウンターでお申し込みください。

**リスニングブース・ビデオコーナー（目白）、AVコーナー（西生田）** ビデオ・カセットテープ・CD・DVDなどの図書館所蔵資料・持参資料の再生（ダビング不可）ができます。カウンターでお申し込みください。

**マイクロリーダー・プリンター** マイクロ資料も図書館で見ることができます。カウンターでお申し込みください。プリントアウトは1枚10円（証紙払い）です。

**複写** 1枚10円です。著作権法31条により、図書館資料に限り、調査研究のために、公表された著作物の一部分であれば複写できます。

※詳しくは「図書館のご案内」①②④をご覧ください。

## 知ってる?

日本女子大学図書館ホームページ(<http://www.lib.jwu.ac.jp>)は便利です!

- ◎インターネット環境があれば、どこからでもアクセスできます。
- 蔵書検索：本学所蔵資料を検索することができます。通称OPACと申します! 詳しくは下段で。
- 開館日程：目白・西生田両図書館の開館日・開館時間などがわかります。
- Online Journal：オンライン可読雑誌です。詳しくは参考係まで。
- 学外サーバ：オンラインデータベースです。詳しくは参考係まで。
- 利用案内：総合利用案内、目白・西生田両図書館利用案内などがあります。

図書館内に設置されているパソコンで、日本女子大学図書館ホームページを利用することができます。図書館は学術情報検索のためにパソコンを設置しています。

## 資料の探し方

日本女子大学図書館は開架式(書架(本棚)をオープンにしているという意味)です。自由に書架に行って資料を探してください。貴重書やAV資料(視聴覚資料)など一部の資料は、館員が出納するのでカウンターまで申し出てください。

### STEP1：資料の配置

和書、洋書、雑誌・年鑑類、参考図書(調べものに適する資料)、大型本など、資料の性質や形態によってまとめて置かれています。また、同じ主題(テーマ)が集まるよう、和書は日本十進分類法(NDC)、洋書はデュエイ十進分類法(DDC)により分類され書架に並んでいます。

### STEP2【重要】：蔵書検索(OPAC)

探している資料が本学に所蔵されているかどうか、所蔵されている場合その配架場所はどこか、正確に知るには目録で調べることが必要です。目録にはOPAC(Online Public Access Catalog)があり、コンピュータでの検索により、本学の蔵書を調べることができます。ただし、下記の収録範囲にご注意!

<OPACで探せる資料：OPACでは和書、洋書、雑誌の区別なく探せます>

- ・西生田地区の全蔵書。
- ・目白地区蔵書の1990年4月以降受け入れのもの、および全洋雑誌。

(1990年3月以前に受け入れた目白地区の蔵書については順次データ入力中です)

ホームページトップ「[蔵書検索](#)」をクリックすると検索画面に移動します。詳しくは「図書館のご案内」③をご覧ください。ホームページ上のヘルプも便利です。雑誌・年鑑類については、あわせて「図書館のご案内」④もご覧ください。

さらに、図書館で開催する資料検索講習会、ガイダンスなどにご参加いただければ完璧! 100%活用法会得にまっくらです。自己流な入力方法で検索し、ヒットしないと「ない」と思って諦めてしまう人も多いですが、図書館システムは目録規則に準じているので、習わなければわからないことがあります。百聞は一見にしかず。ぜひ、参加しましょう。

なお、目白地区にはカード目録もあります。使い方については「図書館のご案内」③目白版をご覧ください。

### STEP3：参考係(皆さんが必要とする文献や情報を探し出すサポートをしています)

資料の検索方法がわからない、必要な資料が見つからないという時は相談してください。他大学図書館の利用を希望する場合も紹介状が必要です。必ず事前に相談してください。図書館にない資料の購入希望も受け付けます。詳しくは「図書館のご案内」④をご覧ください。

さて、そろそろお別れの字数が近づきました。千里の道も一歩から。図書館をどう生かすかは皆さん次第です。まずは図書館に足を運び、少しずつ慣れ親しんでください。お待ちしております!

(館員・西生田図書館 中澤恵子)

## 利用者アンケートを実施して

図書館では「聞かせてくださいあなたの声！図書館サービス向上のためのアンケート」調査を目白・西生田両キャンパスにて通学生と教職員を対象に実施しました（実施期間 学部学生：平成18年9月25日～10月17日、大学院生・教職員：平成18年11月1日～11月24日）。回答をいただきました方々にお礼申し上げます。

学部学生の結果は図書館ホームページ上で公開中であり、抜粋を『図書館だより』の今号に掲載しました。大学院生、教職員の結果についても順次ホームページ上で報告していきますのでご覧ください。

アンケートにより日頃の利用者の動向を把握することができたことに加えて、様々な意見が寄せられ、図書館サービス改善への足がかりを得ることができました。提示された要望は多岐にわたり、蔵書構成・資料充実、建物全般、開館期間・時間、情報検索関係、貸出・返却・予約、書架状況、目白図書館入館時のロッカー使用など内容別に検討を進めていくことにしています。館員の対応についての厳しい意見も出されました。アンケートに回答いただけなかった方の思いもくみとれるように、これからの図書館運営に反映していきたいと思っています。

また目白・西生田図書館には「意見箱」を設置していますので、アンケート時に限らず、意見・要望などがありましたらお寄せください。図書館長がすべての投書を読んで、図書館としての対応を皆で考えます。公開すべき内容については、意見箱のそばに回答を掲示しています。是非ご利用ください。



“また図書館にいらしてください”

### 卒業生の図書館利用について

卒業される皆さんは、卒業後も図書館をご利用いただけます。卒業生として新しい利用カードをお作りいたしますので、平成19年4月以降に図書館のカウンターで利用者登録の手続きをしてください。登録後は図書の貸出もできるようになります。

### 旧教職員の図書館利用について

専任の教職員の方は、退職された後も図書館をご利用いただけます。図書館のカウンターで旧教職員の利用者登録の手続きをしてください。

非常勤の教職員の方は、退職されると図書館の利用ができなくなります。ご希望の方は、図書館友の会に入会していただくと可能になりますので、お問い合わせ下さい。

“お待ちしております”



編集後記 巻頭言から、慈しみ継承されるヴァイマルの図書館、文書館の空間と資料群にしぼし思いを馳せる。続いて昨秋実施の利用者アンケート結果抜粋を掲載した。ひとつひとつの意見を真摯に受けとめ改善策を考えていきたい。新入生に向けて目白・西生田の学生からメッセージをいただき、館員が図書館利用への第一歩を紹介した。新入生も在生もまずは図書館に足を運んで、佐藤さん、大野さんのように図書館の魅力を見つけて行っていただきたい。巻頭写真の泉プロムナードは昨年目白キャンパスに完成した広場、手前の円形のは校章をかたどったゲートサークル。変わりゆく目白キャンパスの風景の中で佇まいの変わらぬ図書館の建物であるが、より利用しやすい図書館へと、先人たちの努力の上にさらにたゆまぬ歩みを進めていきたい。執筆の方々にお礼申し上げます。（中曽根）